



平成25年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月5日

上場会社名 岡野バルブ製造株式会社
コード番号 6492 URL <http://www.okano-valve.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡野 正紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 岡野 武治

TEL 093-372-9214

四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第2四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第2四半期	2,915	△38.2	△274	—	△193	—	△120	—
24年11月期第2四半期	4,718	△9.0	382	83.7	483	51.3	260	188.6

(注)包括利益 25年11月期第2四半期 △101百万円 (—%) 24年11月期第2四半期 257百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第2四半期	△6.81	—
24年11月期第2四半期	14.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第2四半期	10,294	8,500	82.6
24年11月期	10,635	8,672	81.5

(参考)自己資本 25年11月期第2四半期 8,500百万円 24年11月期 8,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	4.00	—	4.00	8.00
25年11月期	—	0.00	—	—	—
25年11月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,202	△1.7	40	△88.2	180	△60.7	75	△62.0	4.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年11月期2Q	17,930,000 株	24年11月期	17,930,000 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

25年11月期2Q	260,699 株	24年11月期	260,199 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年11月期2Q	17,669,664 株	24年11月期2Q	17,736,209 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興関連を中心に公共投資が増加したほか、政府による経済財政政策を背景とした円高の是正や株価の上昇など景気底入れの兆しも見られたものの、企業の設備投資、個人消費、雇用水準など実体経済への本格的な波及までには至らないままで推移致しました。

発電プラント用バルブの製造販売およびメンテナンスを主要事業とする当社グループにおきましては、国内原子力産業の動向が不透明な状況にあることから、引き続き縮小した事業領域での活動を余儀なくされることとなりました。

バルブ事業におきましては、国内では新設プラントである大間原子力発電所や千葉火力発電所3号系列3軸向けの他、原子力発電所向け震災対策弁の販売が主力となりましたが、その他は小規模案件にとどまり、また売上案件も少なかったことから、前年同期に比べ大幅な減収となりました。一方、海外につきましては、主力販売先である中国向けに加え、台湾の新設火力発電所向け大型案件が売上計上されるなど売上高が伸長し、前年同期に比べ増収となりました。

メンテナンス事業におきましては、原発事故の影響による短中期的な事業規模縮小を見据えながら、火力発電所向け高付加価値工事の拡大や復興関連工事等の新規領域への進出に注力してまいりました。しかしながら、予定されていた原子力発電所向けの施工案件や復興関連工事の一部が先送りや中止になったことで小規模案件の施工に終始することとなり、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

損益面につきましては、特に期初においてバルブ事業・メンテナンス事業ともに例年に比べ売上高が大幅に不足したこと、およびメンテナンス部門における未稼働人件費が利益を圧迫した結果、第1四半期に引き続き営業損失を計上いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,915百万円（前年同期比38.2%減）、営業損失274百万円（前年同期は営業利益382百万円）、経常損失193百万円（前年同期は経常利益483百万円）、四半期純損失120百万円（前年同期は四半期純利益260百万円）となりました。

なお、営業外収益には、平成24年度先進超々臨界圧火力発電実用化要素技術開発費補助金32百万円が含まれております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ341百万円減少し、10,294百万円となりました。この主な要因は、仕掛品が185百万円増加した一方で、現金及び預金が432百万円、固定資産が118百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ169百万円減少し、1,793百万円となりました。この主な要因は、工事損失引当金が65百万円、退職給付引当金が39百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ171百万円減少し、8,500百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が190百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ432百万円減少し、2,806百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、退職給付引当金の減少やたな卸資産の増加により322百万円の支出（前年同期1,219百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得により11百万円の支出（前年同期92百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債務の返済による支出や配当金の支払いにより98百万円の支出（前年同期154百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年6月25日に業績予想の修正を公表いたしましたとおり、下期の業績につきましては特に損益面において厳しい状況が予想されます。

国内バルブ事業におきましては、短納期品で採算性の高い原子力発電所向け震災対策弁の販売が下期の収益を牽引する見込みであります。また、海外バルブ事業につきましても、新設の火力発電所向けを中心に売上が予定されており、通期で前年売上高を大幅に上回る見込みであります。このようにバルブ事業につきましては、東日本大震災以降注力してきた諸施策が次第に受注・売上という形で成果を得つつあり、更に円高の是正が海外案件の受注状況に好影響を及ぼしていることも相俟って、下期以降につきましては拡大基調となっております。

一方、メンテナンス事業におきましては、火力発電所向け高付加価値工事の拡大に注力するとともに、復興関連工事や定期検査の残工事等で売上高の積み重ねに努めてまいりますが、原発事故の影響による需要規模の縮小には抗えず、引き続き低調に推移するものと見込まれます。

損益面におきましては、売上高増加に伴い改善の方向には推移するものの、メンテナンス事業での未稼働人件費増加による利益圧迫は避けられず、利益確保に向けた一層のコスト削減策を全社的に推進してまいります。

なお、現時点においては平成25年6月25日に修正いたしました通期業績予想数値に変更はありません。

ただし、これらの予想および進捗は、受注案件の売上時期の流動性等、今後様々な要因により変動する可能性を含んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,559,146	3,126,186
受取手形及び売掛金	2,938,936	2,923,124
製品	101,885	79,919
仕掛品	849,870	1,035,549
原材料	98,923	96,447
その他	254,783	319,892
流動資産合計	7,803,546	7,581,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	713,327	688,282
機械装置及び運搬具(純額)	915,760	860,029
その他(純額)	607,194	551,818
有形固定資産合計	2,236,283	2,100,130
無形固定資産	28,005	25,957
投資その他の資産		
投資有価証券	176,537	215,019
繰延税金資産	303,144	277,253
その他	90,698	97,321
貸倒引当金	△2,700	△2,700
投資その他の資産合計	567,680	586,894
固定資産合計	2,831,968	2,712,983
資産合計	10,635,515	10,294,105

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	213,375	245,990
未払法人税等	6,535	12,400
未払費用	292,517	266,943
賞与引当金	42,718	34,634
その他の引当金	87,776	22,505
その他	192,298	141,787
流動負債合計	835,220	724,261
固定負債		
退職給付引当金	760,939	721,824
役員退職慰労引当金	188,252	197,039
その他	178,494	150,188
固定負債合計	1,127,686	1,069,052
負債合計	1,962,906	1,793,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,286,250	1,286,250
資本剰余金	543,750	543,750
利益剰余金	6,931,072	6,740,135
自己株式	△87,475	△87,602
株主資本合計	8,673,597	8,482,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△989	18,257
その他の包括利益累計額合計	△989	18,257
純資産合計	8,672,608	8,500,790
負債純資産合計	10,635,515	10,294,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
売上高	4,718,273	2,915,375
売上原価	3,686,101	2,599,819
売上総利益	1,032,172	315,556
販売費及び一般管理費		
役員報酬	90,465	91,334
給料手当及び賞与	201,015	162,555
賞与引当金繰入額	601	762
退職給付費用	15,554	12,654
役員退職慰労引当金繰入額	8,216	8,787
減価償却費	9,083	11,030
その他	325,180	302,492
販売費及び一般管理費合計	650,116	589,616
営業利益又は営業損失(△)	382,055	△274,059
営業外収益		
受取利息	73	76
受取配当金	1,759	2,518
持分法による投資利益	11,912	8,734
受取賃貸料	13,481	13,593
補助金収入	64,110	32,840
受取補償金	—	23,044
その他	11,430	6,709
営業外収益合計	102,768	87,516
営業外費用		
支払利息	817	759
減価償却費	—	5,214
その他	567	1,167
営業外費用合計	1,384	7,141
経常利益又は経常損失(△)	483,440	△193,685
特別損失		
固定資産除却損	1,687	—
災害による損失	12,392	—
特別損失合計	14,079	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	469,360	△193,685
法人税、住民税及び事業税	131,300	9,617
法人税等還付税額	—	△10,026
法人税等調整額	77,211	△73,018
法人税等合計	208,511	△73,427
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	260,848	△120,258
四半期純利益又は四半期純損失(△)	260,848	△120,258

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	260,848	△120,258
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△3,837	19,247
その他の包括利益合計	△3,837	19,247
四半期包括利益	257,011	△101,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	257,011	△101,011
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	469,360	△193,685
減価償却費	188,820	157,592
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,051	△8,084
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△62,760	△39,115
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△44,327	8,787
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,400	—
受取利息及び受取配当金	△1,833	△2,594
支払利息	817	759
補助金収入	△64,110	△32,840
持分法による投資損益(△は益)	△11,912	△8,734
固定資産除却損	1,687	—
売上債権の増減額(△は増加)	446,305	15,811
たな卸資産の増減額(△は増加)	510,831	△161,237
仕入債務の増減額(△は減少)	△86,695	32,615
その他	△77,936	△164,641
小計	1,255,794	△395,366
利息及び配当金の受取額	1,833	2,594
利息の支払額	△817	△759
補助金の受取額	64,110	32,840
法人税等の支払額	△100,922	△12,690
法人税等の還付額	—	50,939
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,219,998	△322,443
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△60,000	△9
有形固定資産の取得による支出	△34,859	△17,074
固定資産の除却による支出	△1,161	—
無形固定資産の取得による支出	△2,700	△1,500
ゴルフ会員権の売却による収入	2,750	—
補助金の受取額	3,949	6,718
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,021	△11,865
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△28,302	△28,302
配当金の支払額	△71,114	△70,231
自己株式の純増減額(△は増加)	△55,251	△127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△154,668	△98,661
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	973,308	△432,969
現金及び現金同等物の期首残高	1,801,577	3,239,146
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,774,886	2,806,176

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	バルブ事業 (千円)	メンテナンス 事業(千円)	計(千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,381,924	2,336,348	4,718,273	—	4,718,273
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,381,924	2,336,348	4,718,273	—	4,718,273
セグメント利益	58,940	608,008	666,948	△284,893	382,055

(注) 1. セグメント利益の調整額△284,893千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	バルブ事業 (千円)	メンテナンス 事業(千円)	計(千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,046,816	868,558	2,915,375	—	2,915,375
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,046,816	868,558	2,915,375	—	2,915,375
セグメント利益 又は損失(△)	24,392	△54,706	△30,313	△243,745	△274,059

(注) 1. セグメント利益の調整額△243,745千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。